

財務省第7入札等監視委員会 平成22年度第4回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成23年6月23日（木） 金沢国税局大会議室	
委員	委員長 西村 茂（金沢大学法学部 教授） 委員 尾島 茂樹（金沢大学大学院法務研究科 教授） 委員 中村 明子（松本洋武法律事務所 弁護士）	
審議対象期間	平成23年1月1日（土）～平成23年3月31日（木）	
契約の現状の説明	平成23年1月～3月の契約実績	
抽出委員の選出	委員の互選により西村委員を次回抽出委員に選出。	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	2件	契約件名：(22-6)平和宿舎A地区集合場改修工事 契約相手方：北川インデック株式会社 契約金額：3,706,500円 契約締結日：平成23年1月25日 担当部局：北陸財務局
		契約件名：奥田宿舎4号棟新築工事 契約相手方：村中建設株式会社 契約金額：228,900,000円 契約締結日：平成23年3月30日 担当部局：北陸財務局
随意契約（公共工事）	-1件	
競争入札（物品役務等）	2件	契約件名：平成23年分の土地鑑定評価額の算出に係る業務の委託（富山県）17地点 契約相手方：有限会社貫田不動産鑑定事務所 契約金額：1,220,478円 契約締結日：平成22年9月3日 担当部局：金沢国税局
		契約件名：ETCカードの利用に関する業務一式 契約相手方：株式会社ジェーシービー 契約額：高速道路等の通行利用料 契約締結日：平成22年4月1日 担当部局：金沢国税局
随意契約（物品役務等）	-1件	
応札（応募）業者数1者関連	1件	競争入札（物品役務等）の「ETCカードの利用に関する業務一式」事案に同じ
委員による意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
その他	なし	

意見・質問	回答
<p>【案件 1】 「(22-6)平和宿舎A地区集会場改修工事」</p> <p>契約相手方:北川インデック株式会社 契約金額 : 3,706,500円 契約締結日:平成23年1月25日 担当部局 :北陸財務局</p> <p>案件は工事としては少額であり、スケールメリットを考慮すると、他工事と合わせるなど工夫が必要ではないか。</p>	<p>工事の発注に際しては、予算、期間あるいは地域などを考慮し、案件をまとめることに努めている。</p> <p>本事案については、利用者の要求、予算、工事期間から発注時期が決まり、その際同地域に他の案件がないか確認したところ、当該事案しかなく単独での発注となったものである。</p>
<p>【案件 2】 「奥田宿舎4号棟新築工事」</p> <p>契約相手方:村中建設株式会社 契約額 : 228,900,000円 契約締結日:平成23年3月30日 担当部局 :北陸財務局</p> <p>年度末における入札及び契約となっているが、低入札調査を行っていることからすれば、予算との関係では節減できたということか。</p> <p>2か年度にわたる事案であるとのことであるが、契約書上の前払金の支払ほか、予算と支払について説明願いたい。</p>	<p>本事案については、22・23年度国庫債務負担での予算を確保したうえで入札を実施しており、契約により金額は確定していることから、今後特段の事情がない限り、予算と契約金額との差額は節減できたものといえる。</p> <p>予算については22・23年度国庫債務負担があることから、契約金額について各年度の年割額を決めることになる。</p> <p>22年度分においては、年度末における契約であったことから前払金のみ支出原因となるが、時間的に支出が行なえなかったことから、繰越の手続きを執り、23年度において予算付けがなされたうえで支出を行なっているところである。</p> <p>23年度分においては、工事完了等による請求について、検査確認を経たうえで支出を行なうこととなる。</p>

意見・質問	回答
<p>【案件 3】 「平成23年分の土地鑑定評価額の算出に係る業務(富山県)17地点」</p> <p>契約相手方:有限会社貴田不動産鑑定事務所 契約額 :1,220,478円 契約締結日:平成22年9月3日 担当部局 :金沢国税局</p> <p>仕様書で単価は定められているが、入札を実施することにより、単価を競争させないのか。</p> <p>応募者に対する地点の割り振りについて、教えてほしい。</p> <p>当初から評価する地点が分かっていたら、競争は可能かもしれませんが、現状では価格競争が難しいことは分かりました。</p> <p>各県ごとの地点数は何地点あるのか。</p> <p>鑑定地点は毎年変更するのか。 年により、鑑定地点数にバラツキがあるのか。</p> <p>1者に対し、17地点の依頼は、期間等からみて難しいのか。</p>	<p>本事案においては、限られた期間であること、また、鑑定評価地点が広範囲にわたることから、公募としている。</p> <p>鑑定評価説明会にて、全応募者に対し均等に割り振りしている。</p> <p>富山県282地点、石川県348地点、福井県250地点である。</p> <p>鑑定地点は、毎年、見直しを行っている。</p> <p>今のところ問題ない。</p>
<p>【案件 4】 「ETCカードの利用に関する業務一式」</p> <p>契約相手方:株式会社ジェーシービー 契約額 :高速道路等の通行利用料 契約締結日:平成22年4月1日 担当部局 :金沢国税局</p> <p>今回、1者応募であるが、2者から応募があった場合、どのように選定するのか。</p> <p>内容に差が出ないのではないのか。</p> <p>今案件で、これまでの仕様書を変更したことにより、メリットとなる点は何か。</p> <p>契約期間は、22年4月から23年3月で終了するが、契約は利用料金の確定額となるのか。</p>	<p>2者の応募があった場合、内容を審査し入札へ移行することになる。</p> <p>他社はクレジット機能を付加することが条件であることから、現在のところ、複数者において同一内容ではなく差が出る。</p> <p>ETCカードが官用車だけでなく、レンタカーにも対応できる点である。</p> <p>契約の公表は、確定額である。</p>

意見・質問	回答
<p>【その他】 前回「(22-2)七尾宿舎1号棟住宅模様替えほか設計業務」に対する回答</p> <p>前回案件において、契約書に業務完成保証人が立てられている。</p> <p>この契約では、委託者、受託者及び業務完成保証人の3者契約となっているが、業務完成保証人が受託者に代わり業務を完成させた場合、契約金額又は残余の支払いは、受託者、業務完成保証人の何れに行うこととなるか。</p>	<p>業務完成保証人が受託者に代わり業務を完成させた場合、業務完成保証人へ支払うことを想定している。</p> <p>なお、この契約書面では、業務完成保証人の権利義務等についての取り決めが、幾分不十分なように思われるので、内容を点検している。</p>